

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 02020020

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 (平成24年度創設) オホーツク紋別—羽田便を利用した町民、及び町民以外で道外から同便を利用し、雄武町内の宿泊施設、親戚知人宅に宿泊した人等に対し、助成金を交付する。
基本施策	16	交通体系の整備	事業優先度	C		
単位施策	2	公共交通の維持・確保	政策事務分類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	紋別—羽田便利用助成実績延べ人数					
事業目標	延べ6,000人/年					
住民参加 住民協働	有	第一義的利用助成対象者は町民である。	見直し年度			
			担当課	2	財務企画課	
			関係課	9	産業振興課	
			ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
			関係例規・法令名	有	雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成金交付要綱	
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	・助成金の交付	・助成金の交付	・助成金の交付	・助成金の交付	・助成金の交付	・助成金の交付
	事業費(千円)	192,530	38,506	38,506	38,506	38,506
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	100,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	その他	0				
一般財源	92,530	18,506	18,506	18,506	18,506	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	52,164	18,705	33,459	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	35,000	15,000	20,000		
その他	0					
一般財源	17,164	3,705	13,459			
関 連 事 項	特定財源の名称 過疎債(ソフト)	【評価・実績】	(実施内容等) ・助成金の交付	(実施内容等) ・助成金の交付	(実施内容等)	(実施内容等)
			※事務事業評価結果 B—継続/現状維持	※事務事業評価結果 A—継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	延べ4,660人(經由便期間除く)	延べ6000人	延べ6000人	延べ6000人
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	49%	87%	0%	0%
		全体達成率	10%	27%	27%	27%
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木 幸博
		評価者 作成者 職氏名	財務企画課長補佐	大 水 寛 仁

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	紋別ー羽田便を利用する町民及び町内への通勤通学者、道外在住の雄武町宿泊者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	搭乗延べ人数、直行便運航月数								
【抱える課題やニーズは】	紋別ー羽田直行便の利用低迷により、1年のうち3か月間、千歳經由便運航を余儀なくされていたが、平成26年度はこれが解消され直行便が通年運航となった。今後はさらに利用者数の拡大を図るため、直行便の複便化や休止路線(紋別-千歳)の再開が課題となっている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	紋別ー羽田直行便の通年運航	① 搭乗延べ人数 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>6000人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>5200人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>86.7%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値	6000人	実績値	5200人	達成度	86.7%
目標年度	平成26年度										
目標値	6000人										
実績値	5200人										
達成度	86.7%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	紋別ー羽田直行便の通年運航により、町民の首都圏移動の利便性向上、さらには観光客等の増加により地域経済の活性化を図る	② 直行便運航月数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>12か月</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>12か月</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値	12か月	実績値	12か月	達成度	100.0%
目標年度	平成26年度										
目標値	12か月										
実績値	12か月										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	助成金の交付(町民等)	紋別ー羽田便利用者に、片道1万円、往復2万円(小児料金の適用を受けた場合はそれぞれの半額)を助成した									
	助成金の交付(道外在住で雄武町宿泊者等)	紋別ー羽田便利用者に、片道5千円、往復1万円(小児料金の適用を受けた場合はそれぞれの半額)を助成した									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	オホーツク紋別空港は、雄武町から車で1時間圏内にあり、東京直行便の継続運行は、町民の利便性維持はもちろんのこと、交流人口の拡大や観光政策、医師の確保等、地域振興に欠くことのできない拠点である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	経路便期間が解消され、町民、町外者ともに利用者の拡大が図られた。雄武町の助成制度による利用者は前年度から2倍以上の5,200人、空港全体の利用者は69,479人で目標の6万人を大きく上回る成果にも貢献したことから、有効と判断する
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	道外者に対する助成単価を半額としており、また、財源に過疎債を充当していることから、概ね効率的と判断する
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	航空運賃を負担した後の事後申請による助成であり、雄武町民であることや雄武町に宿泊した事実等をもって交付決定しているため公平である
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
第一義の利用者の町民等の利用状況が良好であり、かつ町外からの利用者についても、特にツアー観光客の利用が延べ2,410人に達し、空港全体の利用者数向上に貢献し、直行便通年運航維持が図られるものと期待される		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も継続して、町民等に対する利用を呼びかけるとともに、ツアー客拡大のための施策等について、関係機関と連携して取り組む必要がある		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止